

令和元年12月18日招集

令和元年第13回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和元年第13回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和元年12月18日 水曜日
2. 場 所 金浦公民館 音楽室
3. 開 会 午前 9時26分
4. 閉 会 午前11時03分

5. 出席委員 教育長 齋藤 光 正
委員 佐々木 郁 子
委員 吉 泉 聡
委員 小 松 雅 子
委員 伊 藤 知

6. 説明のための出席者

教育次長	齋藤 一 樹
教育総務課長	池田 智 成
学校教育課長	菊地 新 吾
学校教育課副主幹	佐々木 妙 子
生涯学習課長兼図書館長	竹内 健
象潟公民館長	佐々木 和 則
白瀬南極探検隊記念館長	阿部 和 久
フェライト子ども科学館長	佐々木 孝 人
文化財保護課長	今野 和 彦
スポーツ振興課長	高橋 寿
象潟B&G海洋センター所長	原田 浩 一

7. 書 記 教育総務課副主幹 相馬 央
教育総務課主査 備前 文 乃

8. 会議に付した議案

議案第59号 令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

9. 可決した議案

議案第59号 令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

10. その他の確認事項

(1) 令和2年第1回教育委員会は、令和2年1月20日(月)午後1

時30分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午前9時26分】

【教育長】

これから、第13回にかほ市教育委員会を開催いたします。出席委員は、5名であります。

議事日程の第1「会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員には、吉泉委員と小松委員をお願いいたします。書記には、事務局の備前主査を指名いたします。

それでは日程の第2 議案第59号 令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について議題といたします。学校教育課長よろしく申し上げます。

(学校教育課長、学校教育課担当 説明)

【教育長】

委員の皆さんから質問等はありませんか。

【教育委員】

(なしの声)

【教育長】

では、議案第59号については、異議がないと認め、議案どおりに承認することいたします。

【教育長】

では日程の第3の報告に入ります。初めにスポーツ振興課長から、屋内運動施設について説明をお願いします。

(スポーツ振興課長 説明)

【教育長】

今まで、議会の説明並びに部長会議等で話題となった点についても委員の方々に説明をお願いします。

【スポーツ振興課長】

議会の説明会の際には、トレーニング室や体力相談室の使い方をどうするのかということでの質問がありました。仁賀保勤労青少年ホームのようにトレーニング器具を置いて使うのかという質問もあったのですが、補助要件としてトレーニング室、体力測定室は置いているのですが、ある程度の倉庫を兼用として利用するというので、器具を置くことは考えていないという説明をしました。また、金浦地内に民間でスポーツジムを運営している施設もありますので、そのような施設の経営にも影響を与えず、競合しない形にしたいということで、大々的に器具を置くということを検討はしていないと説明しております。それから、スリーパイスリーのコートを準備しておりますが、自転車の駐輪場がないので、今後検討して、場所を確保していきたいと思います。また、防犯カメラの対策についての質問もありましたが、設置数などは今後検討しますが、設置する方向で考えております。

【教育長】

わかりました。以上が議会説明での内容ですが、基本的な考え方、または方針については了解を得ますが、委員の皆様の意見も今後の参考にさせていただきたいので、一言ずつお願いします。吉泉委員からお願いします。

【吉泉委員】

基本的なことの確認なのですが、完成と運用時期、また今後の検討課題であるとは思いますが、例えば由利本荘市ではネーミングライツをナイスアリーナという名前で資金調達していますが、現段階ではそのような予定があるかどうか、その二点をお伺いします。

【スポーツ振興課長】

早ければ令和2年7月には発注をして、令和3年3月の完成に向けて進めていきたいと計画しております。ただ、資材が手に入りづらい状況もあるということで、場合によっては年度を繰り越しということも想定はされます。ネーミングライツについては、現段階では計画を進めている段階で、規模もナイスアリーナほどの大きさではないので、想定はしていません。ただ今後、教育委員会内で相談していきたいと思います。

【教育長】

佐々木委員お願いします。

【佐々木委員】

特にありません。

【教育長】

小松委員お願いします。

【小松委員】

バスケットのコートをスマイルの横のコートを参考にされたというお話なのですが、スマイルの場合は周りに子どもたちの自宅があることから、子どもたちが日常的に遊びに来られる施設になっていますが、ここは駐輪場も想定されていなかったということなので、子どもが日常的に集まるような場所にはなるのですか、それともパオのように、行事があるときだけ親に車で連れて来てもらうようなタイプの施設になるのですか。

【スポーツ振興課長】

確かに住宅地からは若干離れているので、スマイルのように日常的に自転車で来るといふ場所になるかはわかりませんが、キッズコーナーは無料で開放しています。

【小松委員】

そうすれば、スマイルとかフェライトは24時間365日床暖も入れて、常に誰かふらっと来ても使える状態です。親の同伴が不可欠な乳児や幼児にしても、ほとんど保育園に入っているでしょうから、平日の午前中に来られるような世帯は、市内に数件しかいないと思います。そのような状況も踏まえて、24時間365日開放するのか、それとも予約をして利用するのか、その点はどうお考えですか。

【スポーツ振興課長】

職員が常駐するかどうかについては未定ですが、24時間の開放は考えていません。

【小松委員】

24時間ではなく、365日9時～5時とかでも、誰がいつ行っても遊べる状態なのかということですか。

【スポーツ振興課長】

その想定です。

【小松委員】

そうなることややはり常駐の職員が必要になるのではないのでしょうか。

【スポーツ振興課長】

その点は総務課人事秘書班との話になるので、私のところではわかりません。市長は、その点も検討するという事で議会でも話をしていました。

【小松委員】

その辺をはっきりしないといけないと思います。

【スポーツ振興課長】

いずれにしろ、開館している時間は自由に利用できる形にする予定です。

【小松委員】

あまりメリットがないような気がします。

【スポーツ振興課長】

キッズルームは、フェライト子ども科学館の入口にあるものよりも、かなり大きい面積を取って作るという想定です。

【小松委員】

そうすると、保育園児を先生が引率して日常的に遊びに来るとか、おもちゃライブラリーのようなものを定期的を開催することもできるのですね。

【スポーツ振興課長】

遊具などを入れて作る予定です。

【小松委員】

まずは対象となる子どもの人数や年齢を明確にするべきだと思います。それにより入れる遊具も変わりますし、キッズルーム自体の使い方を明確にしないと中途半端なものになってしまうと思います。また、人事のことについては別の管轄とおっしゃいましたが、どれくらいの人を張り付けられる施設なのか、例えばパオは管理人が1人いて緊急時に対応しています。フェライト子ども科学館のような体制にするのであれば、オープンの間は最低でも2人か3人はいないといけないと思います。

【スポーツ振興課長】

その体制で考えております。

【小松委員】

絶対に大人がいないと危ないし、キッズコーナーに小学生が単独で来ることも考えられますので。

【スポーツ振興課長】

そこは当然運営していく側としても、責任を持って対応をしていきたいと思っています。

【小松委員】

小さい子向けであるとか、具体的に、「こういうのを作りたいから何人必要です。」ということをおっしゃらないと、中途半端なものができると思うので、その辺も詰めてい

ただければいいのかなと思います。

【スポーツ振興課長】

大きさ的には、かなり大きいスペースになります。

【小松委員】

そうですね。そうなる目が届かないので、未就学児が親と一緒に来る分には問題ないでしょうけども、今時はそのような施設に連れてくるお母様方が子どもの監督をしないという問題もあちこちで出ているので、やはりどの年齢にも対応するというのは少し難しいと思います。

【スポーツ振興課長】

小松委員の意見を参考にさせていただいて、キッズルームをどのような形に持っていかを検討しながら進めていかなければいけないと思います。

【小松委員】

金浦はあまり子どもたちが集う所がなさそうなので、高校生が来ることも考えられませぬ。

【スポーツ振興課長】

キッズルームの用途として、一つは、スポーツゾーンがありまして、そこで大会があると、観客の中には小さな子どもを連れて観戦しにきます。試合の合間など、天候が悪くても寄れるということで計画に組み入れています。常時多くの人を入れるというのも一つの用途なのですが、そういったときに気軽に立ち寄れるスペースという計画ではあります。

【小松委員】

わかりました。

【教育長】

伊藤委員お願いします。

【伊藤委員】

にかほ市のランドマーク的な意味でスポーツ施設を作るのだと思いますが、金額が8億ということは、象潟小学校の改修から見れば金額はそれほど大きいものではないが、象潟小学校の改修時は教育委員会が主になって行い、色々な問題が起きました。その後、「建物を建てるのであれば、横断的に建設関係などと連携を図り、プロジェクトチームを作って、このような事業は進めなければいけない。」という話を、当時議会の委員会

でも提言させてもらっていますが、今課長の話を聞くと、そこは人事の担当だからわからないとか、そのような話が出てくるということは、今作る段階で、最終的にどのような形にするのかを決めていかないと、ただ単に建物を作ればいいというようにしか聞かえないので、やはり大々的にプロジェクトを作って、完成形をしっかりと提示しないと、作る意味がないと思います。また、トレーニングルームは最終的に倉庫のように活用したいとのことですが、現在3町合併してもなお、同じような施設が残っている中で、せっかくこのような施設を作るのであれば、ここに集約してくるのが本筋だと思います。合併した当時から、公民館がなぜ3つあるのかと話をしていますが、同じような施設をいつまで残すのか、庁舎も3つあり、それも1つにしていかなければならないという考えの中にいるのに、仁賀保は仁賀保で残しておきます、という話じゃないと個人的に思います。このようなスポーツの拠点を作るのであれば、やはりここに最終的に集約してくるという考えを持った設計図であってほしいし、思想であってほしいというのが1つです。また、どのような組織の中でこのような建物を作って完成まで行くのか、今後どのような運営をしていくのか、ということをしかりとした考えを持って行ってほしいと思います。それともう1つは、以前に少し危惧した土地について、ガスや油が出るという情報はなかったのでしょうか。

【スポーツ振興課長】

人事の担当だからわからないというのは、私の言い方が悪くて申し訳ありません。職員配置については、事務室も職員を配置できる大きさということで、配置する前提で我々は進めていましたが、実際の配置については人事で決める話なので、その点について確定しているかどうかは私の立場からは言えないという意味です。スポーツ振興課をそこに移行するとか、そのような点をはっきり示されないと断定はできませんが、いずれにしろ、職員を配置する前提で計画を進めています。

【伊藤委員】

私が聞きたいのは、現在この施設を作るために、プロジェクトチームのようなものを作っているのですかということです。教育委員会が主導するのはいいのですが、建設課など色々な所から人を集めて、1つのプロジェクトチームとしてやっているのですか。

【スポーツ振興課長】

教育委員会として動いているということです。

【伊藤委員】

当時の議会から提言したのが何も響いてないということですよね。象潟小学校の改修に関してあのような大きな間違いを犯したことを踏まえて、議会の提言として出したのです。金額が大きいからいいという問題ではなく、1つのかほ市のランドマークとしてこの体育館を作るのだとすれば、そういうことが脳裏に浮かばないというのは、議

会の意義も感じないのかなと思うし、また同じような間違いをするのでないかと感じてしまいます。補助金でやるのであれば、なおさら慎重にやるべきだと思います。

【スポーツ振興課長】

わかりました。関係課長全体にも説明をしながら進めていきますので、そこでまた意見等をもらいながら進めていきたいと思います。

【教育次長】

昨日は部長会議の方で説明をしましたし、情報を共有したいということもあります。

【伊藤委員】

ただ、やる時に、ここは教育委員会だからここは農業関係だからという感覚ではなく、やはり横断的にやっていかなければいけないと思います。これまでも農業関係を含めて、そのような痛みをたくさんしてきたではないですか。その点を改善する必要があると思います。

【スポーツ振興課長】

トレーニングルームについての話もありましたが、図面にある体力測定室とか健康体力相談室も含めて1つの部屋にはできません。ただ、大きさ的には、色々な用途でも活用できるようにというところで計画していたのですが、金浦に民間のスポーツ施設もあるので、どう集約するかは検討しながら考えていかなければいけないと考えております。

また、用地の油等の問題に関しましては、造成の方も伐採の作業から現地に入っています。遺跡の調査も事前に行い、機械を入れて掘り始めています。油の問題は確かに用地買収に行った際に年配の方から「油が出る」といった話をされたことがあるのですが、今現在、現地から油の匂いや形跡は確認できていません。小高い山をこれから本格的に削り始めるので、その段階でどうなるか注意して進めたいと思います。今の段階では問題はないと認識しています。

【伊藤委員】

白瀬記念館からこの施設へのアクセスはどうなっていますか。一回道路に出る必要はありますか。

【スポーツ推進課長】

歩いていく場合は道路に出なくても行けるように作りたいと思います。車はどうしても出るのですが、車を駐車場に止める場合は道路に出ずに行き来ができます。

【伊藤委員】

発電機は付きますか。

【スポーツ振興課長】

はい。

【伊藤委員】

災害時の避難場所に指定するのですよね。

【スポーツ振興課長】

「避難所」という名目にする、消防法など色々な関係で構造が変わってきて、ものすごい改造が伴ってくるので、名目上は「資機材の集積所」という形にしています。議会への説明の際にも、標高的にも津波の想定よりも高い位置にあるので避難場所にすることは可能と話をしていますが、名目上は避難所ということで開設するとなると色々な制約も出てくるので避難所としての指定はしていません。

【伊藤委員】

避難所として作った場合、国から補助金もあるのではないですか。

【スポーツ振興課長】

建物の制約が色々あって、避難所とすると、構造が変わってくるという関係で、資機材の倉庫としています。

【伊藤委員】

ナイスアリーナは災害の避難場所になっていますよね。

【スポーツ振興課長】

その事業とはまた別なので。

【伊藤委員】

どうせやるのであれば、避難所も備えた施設にしたらよいのではないですか。

【スポーツ振興課長】

補助事業としては学校の交付金で進めていました。

【伊藤委員】

わかりました。

【教育長】

まず伊藤委員が言いたいことは、様々な問題があった時に、各部署だけに今まで責任を負わせてきたが、そうではなくて、象潟小学校のこともそうだし、教育委員会の総務

課という捉え方ではなくて、財政とか建設とか色々な人が関わっての責任である、その点を考えると、やはり建物を建てる時は、教育委員会のスポーツ振興課だけに任せるのではなくて、まず全体としてのプロジェクトチームを作る必要があるということです。何か失敗した場合はスポーツ振興課だけに責任を負わせるような状態にならないような、そのようなシステムにしていかなければいけないということで、伊藤委員が議員の時にそのような指導をしたのです。それを実際に取り入れてやっているかどうかとなればまた疑問ですが、いずれにしろ、これからの文化施設もそうですし、そのようなプロジェクトを作りながら、市としてこのようなものを作っていくということを、共通理解したところで、私たちも市長も副市長も確認していかなければいけないと思います。いずれにしろ私たちも億単位の施設を作る場合はプロジェクトチームを作りながら、全体の責任の下でやっていくというのが、これからは必要だと思います。今回指摘されたことを元に、またスポーツ振興課を中心にして検討していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

次に図書館機能付き文化交流施設のアンケートの結果について、生涯学習課長お願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

生涯学習課長から説明があったように、アンケートについては説明がありましたが、副市長を中心にして庁内の検討委員会を開きながら、伊藤委員が心配されたことがないような形で取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願い致します。今のアンケートの結果について、伊藤委員からお一人ずつお願いします。

【伊藤委員】

求めているものがアンケートに表れてきていると思います。アンケート結果は想像したとおりだったと思います。

【教育長】

小松委員お願いします。

【小松委員】

この施設を中心に利用することになるのが今の10代20代だと思って、70代は残念ながら利用できないかなと思うのですが、図書館にしても、今までは単に本を置けばよかったものが、今後は電子図書が入るかもしれないし、対象となるものがここ数年でとても変わると思います。3町に図書館はあるのですから、場所も決まっていなければ、私は金浦の駅の図書館をもっと大きくすれば、子どもも電車で一人で行けるし便利だと思います。交通の便という点でも、7号線沿いだとか、バス停が集中する場

所がいいと思います。また、子どもが一人で行けるということと、飲食可の希望が多いとのことですが、おそらく、お年寄りにとっての飲食というのは、家からおにぎりを持って行って食べたいのだと思うし、若いお母さんたちにとっての飲食というのは、カフェがあってコーヒーを飲みながらだと思うので、その辺の意味合いが全然違うものだと思うので、業者を入れるのか、食べながら喋りながら読んでもいい談話室みたいなものなのかをはっきりさせる必要があると思います。また、Wi-Fiが自由になると子どものゲーム問題が発生すると思いますし、本を中心にするのか、子どもたちが集って勉強できる学習スペースを中心にするのか。例えば、学習スペースに勉強を教えてくれるような人が夕方だけでも常駐してくれれば、子どもたちは集まると思います。子どもたちがうちの町はいい施設があるなと思えば、就職するときに他県に行かず、ここに残ろうかなと思うこともあると思うので、そういう小中学生にアピールできるような、無料で気軽に使えるようなものを作っただけであれば、残ってくれる子が増えるのではないかなと思います。ですので、若年層の意見を大事にして、他の県とか市を見ても、例えば県立図書館は、お年寄りの憩いの場となっていて、一階にソファのスペースがあり、朝からおにぎりを持ってきて夕方までいるとか、元気なお年寄りはそういうこともなさるので、うまい具合に使えば、本当に市内全体の人に来てくれるようなスペースになると思います。バスがそこを通るとか、子どもたちのバスの回数券が出るとか、お年寄りでも歩けなくてもバスが行くとか、車がなくても行けるような、行きたいと思った人が行けるような施設になればいいなと思います。

【生涯学習課長】

参考にさせていただきます。

【教育長】

佐々木さんお願いします。

【佐々木委員】

図書館は私も利用させてもらうこともありますが、象潟の図書館も本を読む所と、玄関も一緒なので静かに本を読もうかなと思っても、おじいちゃんおばあちゃんが来て、そこで会話していて集中できないこともあります。何か特徴のあるものを作ることも大切かと思います。静かに本を読めるスペースが個人的には欲しいなと思います。この施設はこれからどのように組み立てて、場所についてもこれから検討するのでしょうか、ある程度、教育スペースというか、心も体も学べるような一貫したものの捉え方で大きなスペースでどこか場所を取っていくなど検討する必要があると思います。3つある図書館を1つにするわけではないのですよね。

【生涯学習課長】

3つあるのを1つにするのではなくて、金浦地区のこぴあを移すかどうか検討しています。

【佐々木委員】

そこはもう土地は広がらないのですか。

【生涯学習課長】

現在が限界のようです。

【佐々木委員】

作るのであればもう少し検討していただきたいと思いますね。私からは以上です。

【教育長】

吉泉委員お願いします。

【吉泉委員】

2つほど感想です。まず、カフェ・軽食コーナーに対する要望が多いのですが、果たしてそれを作ったとからといって、実際にきてみたら利用しないなど、採算ベースを考えたら非常に難しいこともあるので、要望は要望として受け止めて、現実問題としてどうするかというのをベースに考えないといけないと思います。もう1つは、私はこびあをかなり利用していますが、にかほ市の人口規模であればこびあくらいの規模で十分だと思います。

【教育長】

そうすれば、23日の検討会議の時に、委員の皆さんの意見を頭の中に入れながら、会議に出していただきたいと思います。

【伊藤委員】

統合はしないのですか。

【生涯学習課長】

今のところはしない方向です。

【教育長】

また、委員の方から個人的にありましたら、竹内課長に連絡していただければと思います。

では、進めたいと思います。大阪府泉佐野市に訪問したことについて、文化財保護課長から説明をお願いします。

(文化財保護課長 説明)

【教育長】

今課長が述べたとおりです。私が今回同行したのは、総合教育会議でも提案したように、文化・歴史の交流から、まず一步深めて、教育の交流、教育委員会同士、または教育委員会の職員、児童生徒、そこまで拡大していきたいという捉え方で訪問して参りました。泉佐野市の教育長ともその点を十分話しまして、これから具体的に進めていきたいと思っております。これに対して、委員の方々から何かありますか。

(なしの声)

【教育長】

ないようなので、次に進めたいと思います。学校教育課長から、就学援助費、申請手続き等について、または事務の取り扱い等、変更について説明をお願いします。

(学校教育課長、担当 説明)

【教育長】

新しい取り扱いの変更について、以前より大変になることはないと思いますので、このまま変更をしていただきたいと思います。また、新入学の方については申請漏れがないようにしていただきたいと思います。

【伊藤委員】

所得の確認書類が源泉徴収票ということですか。

【学校教育課 担当】

いいえ、新規申請者の分も税務課の所得証明書を提出してもらいます。

【伊藤委員】

そうすると前々年度の所得証明ということですか。

【学校教育課 担当】

そうです。その方については、6月になったら再度申請してもらい、前年度分の所得証明書を提出してもらいます。

【伊藤委員】

まず前々年度の所得証明書を判断をして、交付になりました、その後6月に前年度の所得証明を確認した際に、対象から外れた場合はどうするのですか。

【学校教育課 担当】

その場合は、新たな認定期間がその年の8月1日から翌年の7月31日に変更になります。

【伊藤委員】

しかし、新1年生の場合は、入学支援のために3月に認定しなければいけないのですよね。そうなれば、4・5・6・7の4か月は認定になって、去年の所得証明を見たら、対象外でしたとなったら、この4か月分はどう取り扱うのですか。

【学校教育課 担当】

そのまま認定として扱うので、返金は求めません。由利本荘市の場合も、そのように取り扱っているとのことでした。

【伊藤委員】

うまく使われる可能性がありますね。

【学校教育課長】

悪用されるかもしれないということですよね。ただ、こちらとしては税務課から発行される所得証明書を手掛かりにすることによって、判断材料が正確にはなります。また、申請者側にしても、源泉徴収票がなくてもよいため、申請は簡単になります。この部分に関してはお互いに良くなる点ではあると思いますが、今おっしゃられたように新入学者だけ4か月間の悪用をされる可能性は当然あります。

【小松委員】

悪用もそうですけど、逆に離婚した場合など、前々年度の所得で判断されると、夫婦の所得となるので、今年度経済的に厳しくて申請した場合は対象外になってしまいますよね。

【学校教育課 担当】

離婚した場合、現在一緒に住んでいる世帯の収入になるので、別れた旦那さんの収入は入りません。

【小松委員】

わかりました。

【学校教育課長】

別れた時点で、審査対象からは別れた人の収入は外すということです。

【教育長】

そう変わらないと思いますが。途中でまた一緒になったりして、収入が増える可能性もありますが。

【学校教育課 担当】

申請者の負担も少しは軽くなるのではないかと思います。

【学校教育課長】

今回この方法でまずやってみながら、問題があるとなれば、ご報告しながら、新しいやり方についてまた検討したいなと思います。

【小松委員】

他の市町村のやり方も教えてもらえればよいと思います。由利本荘市だけでなく全国的に主流な方法を参考にできればよいと思います。

【教育長】

他の自治体についても、対策を把握してみてください。

【学校教育課長】

はい。

【教育長】

それでは、報告に入ります。私からは、「子育て世代への支援」についてです。教育の原点は、家庭にあります。これは国の教育改革にもある言葉であります。また、「子どもは親の背中を見て育つ」、「三つ子の魂百まで」、「育てたように子は育つ」という格言があります。このように、子育ての基本は家庭にあるわけですが、最近では親の虐待が多くなっていて、不登校児童生徒の原因も、昔のように子ども同士の間関係よりも、家庭での親子関係が原因であることが多くなっています。つまり、非常に悩みながら子どもを育てるという親が多くなっていると思います。そして誰にも相談できずに一人で悩んで、しわ寄せが子どもにいくという場合が多いと思います。教育委員会としても子育て世代を見守る関係機関や団体等との連携を強化しながら、子育て世代への支援を充実させるように努めていく必要があると思います。支援として1つは、学校教育課と子育て支援課が連携して0歳から15歳までの長いスパンで子どもや保護者を支援し、見守っていくことです。学校に入ってからでは遅い場合もありますので、妊娠時の状態や出生時から親御さんと一緒になって見守っていく体制を作っていくと思います。2つ目は、生涯学習課で行っている子育てサークルや家庭教育支援チームの活動を充実させながら、子育て世代が相談できるような環境づくりをしていくことです。3つ目に、最近では核家族が多いですが、祖父母がいる家庭は、なるべく祖父母に関わって、祖父母が持つ豊かさに触れ合うことが大事ではないかと思います。これからの時代は、祖父母

の時代でもあると思います。いずれにしろ、「ひとづくり」というものが、「まちづくり」の根幹であると思います。教育委員会だけでなく、市全体として取り組んでいくべきであると思います。皆様のご協力をよろしくお願いします。

では教育総務課から順番にお願いします。

【教育総務課】

1. 工事等の発注状況

○旧上浜小学校消防設備修繕工事

契約者：ALSOK秋田㈱

契約金額：¥2,530,000円

履行期間：11/13～12/20

委託内容：落雷で故障した消防設備の交換工事

※受信機、感知器、誘導灯など

2. 教育財産の引き継ぎ

○旧上郷小学校(校舎)

引継：総務課

期日：9/26

理由：旧上郷小学校の土地・建物について、教育施設としての目的がなくなったため、普通財産に移管する。

※民間へ貸与等を行うには普通財産への移管が必要。

ほか 資料のとおり

【学校教育課】

<各学校の主要行事について>

○県学習状況調査

小学校 … 12/4

中学校 … 12/5

○卒業式

小学校 … 平小、院小 3/13・金小、象小 3/14

中学校 … 3/7

<その他(令和2年度当初の予定)>

○教職員春季全体研修会 4/3 @仁賀保勤労青少年ホーム

○中学校入学式 4/7 午前の予定

○小学校入学式 4/8 午前の予定

ほか 資料のとおり

【生涯学習課】

<実施した事業等>

[生涯学習課]

- 3地域学生交流会(むらすぎ、福寿、白寿)(11/20)
@仁賀保勤労青少年ホーム 参加者:167人
- 県計画訪問(11/28) 県から2人
- 浜っ子クラブ クリスマスカざり作り(12/10) 参加者:39人、1~4年生

<今後の事業等>

[生涯学習課]

- 金浦福寿大学「院内油田の歴史を学ぶ」(12/26) 講師:茂野正信氏
- にかほ市成人式(1/12) @スマイル
対象者:272人(仁賀保117人 金浦54人 象潟101人)

【図書館】

<報告>

- 展示関係 … 冬の役立つコーナー(おせち料理、あたたかい鍋物等)
2020年大河ドラマ「麒麟がくる」明智光秀
干支『子』ねずみ絵本紹介
- 第15回にかほ市読書感想文第3回審査会(11/22)

<今後の計画>

- 第15回にかほ市読書感想文第4回審査会(1/24)
一般の部(高校生以上) 締切:1/10

ほか 資料のとおり

【仁賀保公民館】

資料のとおり

【象潟公民館】

<12月~1月の事業予定>

[青少年教育]

- 友遊くらぶ おいしいクリスマスクッキング(12/21)
@象潟構造改善センター

内容:食生活改善推進協議会が地域の子どものがすくすくと育つように栄養バランスを考えたクリスマス料理を実習
子どもたちに事業を通じて、食生活改善推進協議会に対する感謝の気持ちを醸成

[成人教育]

○パソコン教室 ワード講座(全2回)(12/16～17)

[高齢者教室]

○白寿大学 12月例会

象潟白寿大学と認定こども園・保育園ふれあい交流・お遊戯会(12/19)

@象潟公民館

○白寿大学 1月例会

第2弾「声高らかに！みんなで歌おう」(1/12)@象潟公会堂

[青少年教育]

○友遊くらぶ ほか 子どもつどい(1/9)@象潟公民館

内容：子どもたちが安全・安心できる環境のもと皆で楽しみを共有できる昔遊び等(紙芝居、カルタ大会、皿まわし、バルーンアート)を通じて、心と体の教育を図る。

ほか 資料のとおり

【フェライト子ども科学館】

<11月～12月の事業等報告>

○入館者数の実績 4～11月計 入館者数：33,979人(前年比+10.2%)

うち11月 入館者数：3,527人(前年比+62.5%)

○かんたん実験工作教室(予約不要)

オリジナル缶バッジを作ろう！(11/23)

キューブパズル(12/7)

○実験工作教室(募集型)

木の実で「イルミネーションツリー」を作ろう！(12/14)

参加者：24人(子ども12人、大人12人)

○米村でんじろうサイエンスプロダクション実験教室(募集型)

「電池のひみつ」(12/15) 参加者：43人(子ども25人、大人18人)

<12月～1月の事業予定>

○かんたん実験工作教室(予約不要)

キューブパズル(12/21)

マグネットピン(12/28、1/4)

こまをつくって遊ぼう！(1/11、18、25)

プラ板キーホルダー(1/13)

○冬休み特別企画展

はぐるまキッズランド～カラフルオモチャをたのしもう！～(12/21～1/13)

ほか 資料のとおり

【白瀬南極探検隊記念館】

<事業実績の報告>

- 入館者数の実績 …4～11月計 入館者数：9,468人（前年比△ 4.7%）
うち11月 入館者数：794人（前年比+ 32.3%）
- にかほミュージアムスタンプラリー[主催：にかほミュージアム実行委員会]
(10/5～12/1) 参加者数：7,851人

<今後の主な事業予定>

- 白瀬・南極出前授業(12/20) @金浦中学校 講師：八柳吉彦氏
- 白瀬・南極出前授業～南極・北極教室～[国立極地研究所との連携事業](1/16)
@象潟中学校 講師：伊村 智氏(極地研副所長、生物圏研究グループ教授)
- 白瀬中尉をしのぶつどい(1/28)

ほか 資料のとおり

【文化財保護課】

<11月～12月の主な事業>

- 松を守る会視察研修(11/19) @山形県尾花沢市 参加者：17人
- 泉佐野市 にかほ市歴史・文化交流事業(11/25～27)
- 屋内運動施設建設工事に伴う埋蔵文化財分布調査(12/10～11)

<1月の主な事業予定>

- 第1回郷土史市民講座「象潟を訪れた文人たち～芭蕉・一茶・子規を中心に～」
(1/19) @象潟公民館
- 仁賀保高校伝承芸能講演会「伝承芸能について(仮)」(1/23)
- 第2回郷土史市民講座「封印された記憶－矢島領生駒家中の戊辰戦争－」(1/25)

@象潟公民館

- 第3回郷土史市民講座「獅子ヶ鼻湿原の不思議な水」(1/30) @象潟公民館

ほか 資料のとおり

【スポーツ振興課】

<12月の実施事業>

- にかほ市スポーツ少年団指導者親の会研修会(11/30) @金浦公民館
参加者：60人
- スポーツ少年団全団交流会(12/7) @象潟体育館、象潟中学校体育館
参加者：273人
- ともしび野球教室(12/8) @TDK秋田総合スポーツセンター内の屋内練習場
- あすチャレ!アカデミー(12/14) @さんねむ温泉

<1月の実施事業>

○スポーツ推進委員の運動指導活動(1/12～) @ 巾山スキー場
ほか 資料のとおり

【象潟B&G海洋センター】

○着衣泳体験(12/26)
○カヌー体験(1/7)
○11月の利用者実績合計: 3,209人(昨年 3,681人)
ほか 資料のとおり

【教育長】

以上で報告が終わりましたが、委員の皆さんから何か質問はありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、次回は令和2年1月20日(月)の午後1時30分から金浦公民館で開催いたします。以上を持ちまして、第13回にかほ市教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午前11時03分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

藤 浩 光 正

” 委 員

吉 泉 聡

” 委 員

小 松 雅 子